

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10280001				
授業名	福祉レクリエーションの理論と方法	形態	講義	単位	2
担当教員	高橋 紀子				
開講学期	2024年度 前学期	曜日・時限	金曜3限		
授業目的	その人らしい生活 生き方や生きがい論などを多角的にとらえながら、現代生活のいろんな場面で、いかにレクリエーション活動が重要であるかを考察する。人間の成長に果たすレクリエーション活動の効用といった一般論にとどまらず、福祉的サービスが必要な方たちにも 集団を介した個別レクリエーション活動支援についての理解とその支援方法について体得する				
授業内容	以下の諸分野における考察を深めていく。 1) レクリエーションの諸説 2) 福祉レクリエーションについて 3) セラビューティックレクリエーションについて 4) 集団を介した福祉レクリエーション活動支援とは 5) 発達段階に必要なレクリエーション活動について 6) 日常生活に大切な福祉レクリエーション活動について 7) ADL・IADLを意識した福祉レクリエーション援助の目的とその必要性 8) ICFに即したレクリエーション活動支援とその効果について 9) 福祉レクリエーション支援をより有用にするための関連法規とは 10) 福祉レクリエーション支援のために有用な多職種 他職種連携・関係の必要性について				
到達目標	レクリエーションと福祉レクリエーションの理念とその展開や領域について広く深く理解する。レクリエーションの根源的な意味を理解し福祉レクリエーションについて他者に的確にその内容と必要性について説明できるようになる。。				
ディプロマポリシーとの関連性	<社DP2-(2)> 社会福祉の専門職(社会福祉士等)に足る社会福祉の知識と福祉マインドを持って、社会福祉をはじめ幅広い分野で活躍する意欲と能力を身に付けている。				
授業形態	【対面】事前に配布した資料をもとに講義を行う。一方で、資料や講義についての質問を受付次の講義に生かしながら授業をすすめる。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	受講状況や小レポートの内容および最終授業で行う学習到達度試験（授業内試験）によって総合的に評価する。				
評価基準	受講状況や小レポートの内容：50点 最終授業で行う学習到達度試験（授業内試験）：50点  合計100点満点で評価する。				
試験・レポート等のフィードバック	各授業内で提出されたレポートについては、次の授業で講評・解説をおこなう。また、授業内試験の場合は、授業内試験後に講評をおこなう。				
注意事項及び履修条件	予習 復習をかかささないこと。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	本授業のシラバスを良く読み、質問事項を考えてくる。また、今までイメージしてきたレクリエーションについて自分なりのまとめをしてくる。				
授業内容	授業ガイダンス（授業の進め方、聴覚障害者、視覚障害者、車椅子履修者への対応説明、評価の方法、交通トラブルによる遅刻への対応説明、出席リーダーの使い方の説明、学生証を忘れた時の対応、受講者以外の学生侵入の注意、聴講生への対応、公欠忌引きなどの欠席届の対応説明、その他）。 福祉レクリエーションとはなにか その支援の必要性 専門性について  課題:レクリエーションのイメージを問う。				
事後学習	本時の内容、感想、次時への課題をノートにまとめ、次時までに提出する。				
参考文献					
第2回					
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。				
授業内容	福祉レクリエーション援助の目的とは				
事後学習	福祉レクリエーションの援助とは何か その目的についてまとめてくる。				
参考文献					
第3回					
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。				
授業内容	生きがい支援 生活習慣の視点から				
事後学習	生きがいについて理解を深める。生活習慣とは何かについて理解を深めてくる。				
参考文献					
第4回					
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。				
授業内容	福祉レクリエーション援助 アセスメントの方法				
事後学習	福祉レクリエーション支援のためのアセスメントをするうえで様々な角度からの知識を深めておくこと。心身機能身体構造についても理解を深めておくこと。				
参考文献					

第5回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	福祉レクリエーション援助計画とその方法について
事後学習	各世代ごと また個々人の生きがいについてのとらえ方について調べてくる。そのうえで援助 支援とはなにか その方法についても理解を深めてくる。
参考文献	

第6回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	グループワーク①ジョハリの心の4つの窓から見るレクリエーションの意味
事後学習	友人や家族に対して隠している窓や自分にとっての暗い窓について深く振り返りをしてメモしておく。
参考文献	

第7回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	グループワーク②交流分析や心理療法から見るレクリエーションの意味
事後学習	心理学がどれほど人間理解に役立つのか、よく考えて客観的になれるように心がける。
参考文献	

第8回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	グループワーク③自己覚知とレクリエーション活動と余暇活動についてとらえ方を整理する。
事後学習	自らのレクリエーション活動 余暇活動について整理してくる。
参考文献	

第9回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	個別福祉レクリエーション支援について
事後学習	個人にフォーカスした福祉レクリエーション支援とは何かについて理解を深めてくる。
参考文献	

第10回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	集団を介した個別福祉レクリエーション支援について
事後学習	集団を介した個別福祉レクリエーション支援のアプローチの必要性とその効果について理解を深める。。
参考文献	

第11回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	発達段階におけるレクリエーション活動の必要性和子どもの成長発達に及ぼす遊び=レクリエーション活動の効果（身体的・社会的・精神的・情緒的效果）
事後学習	自らの成長発達過程を振り返り、その中で「遊び」の果たした役割について考える。
参考文献	

第12回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	セラピューティックレクリエーションの必要性と役割（TRS）
事後学習	我が国におけるセラピューティックレクリエーションの事例について、日常の新聞・雑誌・ニュースの中から関連するトピックに注意を向けるよう努力する。
参考文献	

第13回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	日常生活動作(ADL)手段的日常生活動作(IADL)と福祉レクリエーション活動支援の関係①
事後学習	日常生活の個々の動作についてあらためて整理し理解を深めてくる。
参考文献	

第14回	
事前学習	事前に配布した資料を読み、質問箇所等をまとめておく。
授業内容	日常生活動作(ADL)手段的日常生活動作(IADL)と福祉レクリエーション活動支援の関係②
事後学習	生活習慣 介護予防と日常生活の個々の動作についてあらためて整理し理解を深めてくる。
参考文献	

第15回	
事前学習	これまでに配布した資料を読み返し、講義内容を振り返って、福祉とレクリエーションの関係について理解を深めておく。
授業内容	授業内試験の実施とその解説、及びこれまでの授業の振り返り。 ※授業内試験未受験者については、個別に対応する。
事後学習	授業を通じて、福祉のレクリエーション的な取り組み、。またはレクリエーションの福祉的な取り組みについて理解し、日常の中で自ら実践を試みる。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;社DP-2&gt; 【社会福祉学分野における知識・技能・態度】 社会福祉学に関する価値、倫理、理論、方法を体系的に理解しそこから培われる福祉マインドを持って、さまざまな実践の場で活用する技能・能力を身に付けている。</p> <p>&lt;社DP2-(1)&gt; 社会福祉学やソーシャルワークに関する基本的かつ体系的な知識を身に付けている。</p>
-----------	---

<社DP2-(2)>

社会福祉の専門職(社会福祉士等)に足る社会福祉の知識と福祉マインドを持って、社会福祉をはじめ幅広い分野で活躍する意欲と能力を身に付けている。